

スノーシュー体験などこの時期に
しかできない体験を室内

体験型観光企画「アグリテック」

JR旭川駅構内に観光
アクティビティセンター
が12月15日にオープン。
一般社団法人・大雪カム
イミンタラDMO（理事
長、西川将人旭川市長
の委託を受け、東川町の
体験型観光トータルコー
ディネート会社（有）アグリ
テックが運営している。

JR旭川駅にアクティビティセンター

防寒ウェアや
スノーシューの
レンタルができる
JR
旭川駅
東口の旭
川観光情報
センターの一
角を活用して、
各スキー場のレ
ンタル品の一括予
約窓口とWEB予約ベ
ージを設置し、園域の

誘致へ向けた取り組
みの一つとして
開設。

JR旭川駅の構内にカウ
ンター式窓口を設置する
ことで「ノーオブラン」での
観光客への提案や、イン
バウンド客の対応をはじめ
め、各スキー場のリアル
タイムなアクティビティ
情報や体験プログラム、
着地型観光ツアーや提
案・情報発信を通じて、
旭川園域の「スノーリゾ
ート都市」としてのアク
ティビティ情報発信機能
（の一部）を担つていき
たい」とアグリテック。

業務期間は2019年
3月末日まで。ちなみに、

アグリテックの中田浩康
社長は本誌に「今、農村
空間が面白い！」を好評
連載している。その他、
問い合わせは旭川アクト
イビティセンター（☎ 0
166-173-6968）。



各スキー場と連携しスキー用品の手ぶらレンタルを受付

旭川園域にあ
る4つのスキ
ー場（カムイスキ
ーリングス、サ
ンタブレゼント
パーク、びつぶ
スキー場、キャ
ンモアスキー場
）には手軽に手ぶ
らでもスキーの
予約が出来る体
制が整っている
いため、観光客
へ向けた取り組
みの一つとして
開設。

JR旭川駅の構内にカウ
ンター式窓口を設置する
ことで「ノーオブラン」での
観光客への提案や、イン
バウンド客の対応をはじ
め、各スキー場のリアル
タイムなアクティビティ
情報や体験プログラム、
着地型観光ツアーや提
案・情報発信を通じて、
旭川園域の「スノーリゾ
ート都市」としてのアク
ティビティ情報発信機能
（の一部）を担つていき
たい」とアグリテック。

